

授業 コード	10266	科目名	総合日本語	担当者		西村 周浩 / 脇坂 美和子			
	10270			副題	開講期	前期	単位数	2	DP対応

【授業概要】

大学生活に必要な日本語の知識を身につけるために、四技能(読む、聴く、書く、話す)を総合的に用いて日本語を勉強していきます。この授業では実践的な聴解と作文の力をつけることに重点を置きます。

【到達目標】

講義を聴いてしっかりと理解できる。
わかりやすく明快に自分の意見を書けるようになる。

【授業方法・計画】

演習形式で行ないます。テーマに応じてディスカッションを行います。
順序・内容は受講生の日本語力に応じて変わることがあります。

第1回	オリエンテーション、聴解・作文の実践練習 未来について
第2回	聴解・作文の実践練習 日常生活について(1)
第3回	聴解・作文の実践練習 過去の体験について(1)
第4回	聴解・作文の実践練習 自国の文化について(1)
第5回	聴解・作文の実践練習 日常生活について(2)
第6回	聴解・作文の実践練習 過去の体験について(2)
第7回	聴解・作文の実践練習 自国の文化について(2)
第8回	聴解・作文の実践練習 日常生活について(3)
第9回	聴解・作文の実践練習 過去の体験について(3)
第10回	聴解・作文の実践練習 自国の文化について(3)
第11回	聴解・作文の実践練習 日常生活について(4)
第12回	聴解・作文の実践練習 過去の体験について(4)
第13回	聴解・作文の実践練習 自国の文化について(4)
第14回	まとめ 課題に即した作文

【準備学習・復習】

準備学習:小テスト等に備えた予習(100分)。
復習:聴解問題・作文の見直し(100分)。

【課題に対するフィードバックの方法】

小テスト等は、返却時に解説をします。
作文は添削をして返却します。

【受講上のアドバイスおよび注意事項】

作文で重要表現が使えるようになると、大学の授業の聴解にも役立ちます。毎回出席して身につけていきましょう。
質問は授業時間終了後に教室でも受け付けます。

成績評価方法	授業中の課題作文・小テスト等70%、期末作文30%
教科書	『シャドウイング 日本語を話そう 中～上級編』 斎藤仁志ほか くろしお出版
参考書	特にありません。

CB0110	授業に関連する実務経験	なし
--------	-------------	----